

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	名古屋芸術大学
設置者名	学校法人 名古屋自由学院

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・ 通信 制の 場合	実務経験のある 教員等による 授業科目の単位数				省令 で定 める 基準 単 位 数	配 置 困 難
			全学 共通 科目	学部 等 共通 科目	専門 科目	合計		
芸術学部	芸術学科	夜・ 通信	8		6	14	13	
教育学部 (人間発達学部)	子ども学科 (子ども発達学科)	夜・ 通信	10		4	14	13	
美術学部	美術学科	夜・ 通信	6		8	14	13	
(備考) 令和4年度人間発達学部子ども発達学科を教育学部子ども学科に名称変更 美術学部(美術学科)・・・平成29年度学生募集停止								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

本学ホームページにおいて公表 https://www.nua.ac.jp/files/pdf/%281%29_1_実務経験のある教員等による授業科目の一覧表.pdf

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由) 該当学部なし

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	名古屋芸術大学
設置者名	学校法人 名古屋自由学院

1. 理事（役員）名簿の公表方法

本学ホームページにて公表 https://www.nua.ac.jp/about/disclosure/jiyuu-gakuin/#headline-1619405588

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	会社代表取締役	令和7年6月28日の定時評議員会の 終結後から3年後 の定時評議員会の 終結時まで	組織運営体制への チェック機能 経営計画の策定
非常勤	税理士	令和7年6月28日の定時評議員会の 終結後から3年後 の定時評議員会の 終結時まで	組織運営体制への チェック機能 ガバナンス強化
非常勤	医師	令和7年6月28日の定時評議員会の 終結後から3年後 の定時評議員会の 終結時まで	組織運営体制への チェック機能 ガバナンス強化
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	名古屋芸術大学
設置者名	学校法人 名古屋自由学院

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p> <p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>授業計画(シラバス)の作成については、授業科目の担当教員が確定した後、速やかに作成を依頼している。授業科目の担当教員は、シラバス作成の記入要領を記載したマニュアルに従い作成する。そのマニュアルにおいては、授業の到達目標、授業の概要、授業計画、成績評価の方法と基準等々、シラバス記載項目について説明している。作成されたシラバスについては、年度初めの履修登録時に公表している。</p>	
<p>授業計画書の公表方法</p>	<p>本学ホームページにて公表 http://meigei.nua.ac.jp/uprx/up/pk/pky001/Pky00101.xhtml?guestlogin=Kmh006</p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p> <p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>授業科目の担当教員は、授業計画(シラバス)において予め示された成績評価の方法と基準のとおり、各授業科目の学修成果の評価を行い、これに基づき、成績の判定と単位の授与を行っている。</p> <p>シラバスでは、授業の到達目標において、どの程度到達することができたのかを的確に評価できるような目標設定を求め、その授業の到達目標に対する学修成果の達成度を適切に評価できる方法(筆記試験、期末レポート等)を成績評価の方法とし、その成績評価の方法を用いて、達成度を判定するための基準を示すこととしている。</p>	
<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>成績評価の客観的な指標としてGPA(Grade Point Average)を設定している。GPAは、成績評価に対してGP(Grade Point)を定め、次の計算式により算出している。</p> <p>(履修科目の単位数×GP)の合計/履修登録科目の単位数の合計 上記の計算式に従い、履修科目の成績に基づき、各学期及び積算のGPAを学生ごとに算出している。</p>	
<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p>	<p>本学ホームページにて公表 https://www.nua.ac.jp/files/pdf/hyouka&ninntei.pdf</p>

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

卒業の認定方針として、次のとおり学部ごとにディプロマポリシーを策定している。

芸術学部：

専門的実践を通じて社会に寄与する能力と知識を備え、所定の単位を取得した者に学士（芸術）の学位を授与する。

教育学部：

「建学の精神」に基づき、「芸術」に根ざした人間性、感性、創造性、教養、そして「わからないことを愉しむ」という姿勢を備え、教育あるいは保育分野における基礎的な専門知識と技術を活用しつつ、正解のない多様な課題に対し、他者と協働しながら「あそび心」をもって取り組むことで、子どもの発達を支援し、地域に貢献しつつ成長し続け、新たな価値を創造できる資質・能力を獲得したものに、学士（教育学）の学位を授与する。

「到達目標」

【芸術的態度】

- ・正解のない課題に取り組み、「わからないこと」を愉しもうとする態度をもつ者。
- ・創造性、探究心、論理性、問題解決力を発揮しつつ、知識・技術を総合的に活用しようとする者。
- ・多様な状況や課題に対して柔軟に対応し、解決を図ろうとする者。
- ・培った人間性と感性を基に、様々な分野を横断した視点から、新たな価値を見出そうとする者。

【知識・理解】

- ・子どもの発達に関する基礎的な専門知識を身につけた者。
- ・専門分野における理論や技術を、幅広い教養とともに身につけた者。
- ・社会および専門分野の諸課題について、多角的かつ体系的に理解する者。

【関心・意欲】

- ・社会の変化や専門分野の発展を積極的に学び、「わからないこと」を愉しみながら、自己成長を続ける意欲を持つ者。
- ・異文化に対する理解を重視し、主体的に課題を見出し、「あそび心」をもったうえで、専門的な視点から解決しようとする意欲を持つ者。
- ・自主的に学修・研究や成果発表を行い、地域社会と連携しながら実践を積み重ねようとする者。

【思考・判断】

- ・専門的な知識や教養を生かし、多角的・批判的かつ「あそび心」をもって思考しようとする者。
- ・子どもの最善の利益を最優先に考慮し、適切な判断を下す力を身につけた者。
- ・社会や専門分野における課題について、最新の知識や教養に基づき、現場での実践にふさわしい判断ができる者。

<p>【技能・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ICTを含む専門分野の技術を修得し、実践で活用できる者。 ・社会や他者に配慮しながら、自らの考えや意志を適切に表現する力を身につけた者。 ・他者の視点を理解しつつ、自分の意見を発信する力を身につけた者。 <p>【コミュニケーション・人間関係】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・倫理観を持ち、自己および他者を尊重する姿勢を持つ者。 ・円滑なコミュニケーションを通じて、協働しながら課題を解決しようとする者。 ・他者と協力しながら、新たな価値の創造に向けた建設的な対話を行う者。 <p>【子どもに対する姿勢】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども一人ひとりの多様な背景をふまえ、適切に理解しようとする者。 ・子どもの発達状態を把握し、強みと課題を見い出す力を身につけた者。 ・専門知識を基に、子どもの成長に寄与する課題設定と支援を行う姿勢と力を身につけた者。 ・普遍的な価値を重視しつつ、変化する環境に応じた柔軟な姿勢をもって、誠実に子どもに向き合う者。 <p>ディプロマポリシーに基づき、学部ごとにカリキュラムポリシーを策定し、各学部の目的、教育目標（養成する人材像）を達成するためのカリキュラムを編成している。このように編成されたカリキュラムにおいて、所定の卒業要件単位（124単位）を修得することによって、卒業を認定し、学位を授与する。</p>	
卒業の認定に関する方針の公表方法	<p>全学生及び教職員に配布している学生便覧において、各学部のディプロマポリシーを記載するとともに、本学ホームページにおいて公表している。</p> <p>https://www.nua.ac.jp/about/admission/</p>

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】
 ※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	名古屋芸術大学
設置者名	学校法人 名古屋自由学院

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	本学ホームページにて公表 https://www.nua.ac.jp/about/disclosure/jiyuu-gakuin/
収支計算書又は 損益計算書	本学ホームページにて公表 https://www.nua.ac.jp/about/disclosure/jiyuu-gakuin/
財産目録	本学ホームページにて公表 https://www.nua.ac.jp/about/disclosure/jiyuu-gakuin/
事業報告書	本学ホームページにて公表 https://www.nua.ac.jp/about/disclosure/jiyuu-gakuin/
監事による監査報告 (書)	本学ホームページにて公表 https://www.nua.ac.jp/about/disclosure/jiyuu-gakuin/

2. 事業計画 (任意記載事項)

単年度計画 (名称： 単年度計画は設定なし 対象年度：)
公表方法：
中長期計画 (名称： 学校法人名古屋自由学院第2期中期計画 対象年度： 2025～2029)
公表方法： 本学ホームページ https://www.nua.ac.jp/about/disclosure/jiyuu-gakuin/

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法： 本学ホームページにて公表 https://www.nua.ac.jp/about/files/pdf/R6_jikotenken.pdf https://www.nua.ac.jp/about/files/pdf/2025_自己点検評価報告書.pdf
--

(2) 認証評価の結果 (任意記載事項)

公表方法： 本学ホームページにて公表 https://www.nua.ac.jp/about/disclosure/estimation/

(3) 学校教育法施行規則第172条の2第1項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業又は修了の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名
教育研究上の目的（公表方法：本学ホームページにて公表） https://www.nua.ac.jp/about/admission/
（概要） 本学は教育基本法・学校教育法に則り、芸術に関する専門の学術技芸、また、人間発達に関する専門的知識を教授研究し、さらに、広範な展望の下、歴史・社会に位置づけるべき総合的教養を授け、もってわが国の芸術文化ならびに人間発達の創造発展に寄与しうる人を養成することを目的とする。
卒業又は修了の認定に関する方針（公表方法：本学ホームページにて公表） https://www.nua.ac.jp/about/admission/
（概要） 芸術学部： 専門的実践を通じて社会に寄与する能力と知識を備え、所定の単位を取得した者に学士（芸術）の学位を授与する。 教育学部： 「建学の精神」に基づき、「芸術」に根ざした人間性、感性、創造性、教養、そして「わからないことを愉しむ」という姿勢を備え、教育あるいは保育分野における基礎的な専門知識と技術を活用しつつ、正解のない多様な課題に対し、他者と協働しながら「あそび心」をもって取り組むことで、子どもの発達を支援し、地域に貢献しつつ成長し続け、新たな価値を創造できる資質・能力を獲得したものに、学士（教育学）の学位を授与する。 「到達目標」 【芸術的態度】 ・正解のない課題に取り組み、「わからないこと」を愉しもうとする態度をもつ者。 ・創造性、探究心、論理性、問題解決力を発揮しつつ、知識・技術を総合的に活用しようとする者。 ・多様な状況や課題に対して柔軟に対応し、解決を図ろうとする者。 ・培った人間性と感性を基に、様々な分野を横断した視点から、新たな価値を見い出そうとする者。 【知識・理解】 ・子どもの発達に関する基礎的な専門知識を身につけた者。 ・専門分野における理論や技術を、幅広い教養とともに身につけた者。 ・社会および専門分野の諸課題について、多角的かつ体系的に理解する者。 【関心・意欲】 ・社会の変化や専門分野の発展を積極的に学び、「わからないこと」を愉しみながら、自己成長を続ける意欲を持つ者。 ・異文化に対する理解を重視し、主体的に課題を見い出し、「あそび心」をもったうえで、専門的な視点から解決しようとする意欲を持つ者。

・自主的に学修・研究や成果発表を行い、地域社会と連携しながら実践を積み重ねようとする者。

【思考・判断】

- ・専門的な知識や教養を生かし、多角的・批判的かつ「あそび心」をもって思考しようとする者。
- ・子どもの最善の利益を最優先に考慮し、適切な判断を下す力を身につけた者。
- ・社会や専門分野における課題について、最新の知識や教養に基づき、現場での実践にふさわしい判断ができる者。

【技能・表現】

- ・ICTを含む専門分野の技術を修得し、実践で活用できる者。
- ・社会や他者に配慮しながら、自らの考えや意志を適切に表現する力を身につけた者。
- ・他者の視点を理解しつつ、自分の意見を発信する力を身につけた者。

【コミュニケーション・人間関係】

- ・倫理観を持ち、自己および他者を尊重する姿勢を持つ者。
- ・円滑なコミュニケーションを通じて、協働しながら課題を解決しようとする者。
- ・他者と協力しながら、新たな価値の創造に向けた建設的な対話を行う者。

【子どもに対する姿勢】

- ・子ども一人ひとりの多様な背景をふまえ、適切に理解しようとする者。
- ・子どもの発達状態を把握し、強みと課題を見い出す力を身につけた者。
- ・専門知識を基に、子どもの成長に寄与する課題設定と支援を行う姿勢と力を身につけた者。
- ・普遍的な価値を重視しつつ、変化する環境に応じた柔軟な姿勢をもって、誠実に子どもに向き合う者。

教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：本学ホームページにて公表）

<https://www.nua.ac.jp/about/admission/>

（概要）

芸術学部：

芸術文化の発展と地域・社会に貢献するため、各領域の専門教育を充実させ、領域横断的に広く学ぶことでキャリア形成も複眼的に図っていくことができるカリキュラムを編成している。

教育学部：

保育士養成課程、幼稚園及び小学校教諭養成課程の3課程を創造的かつ計画的に組み合わせて学ぶことで、多様性が求められるキャリア形成に即応し進路を明確にするカリキュラムを編成している。

入学者の受入れに関する方針（公表方法：本学ホームページにて公表）

<https://www.nua.ac.jp/about/admission/>

(概要)

芸術学部：

芸術に創造的な価値を見だし、自己の潜在能力を導きだし、それらを通じて社会に貢献することを志す人材を育成するため、学部が掲げる目的や教育理念と目標を理解し、かつ領域単位で掲げる以下の「求める学生像」が備わっている人材を求める。

[求める学生像]

<音楽領域>

- ・音楽への意欲と情熱、音楽の理論と実技・実践を学修する勤勉性と能力、芸術文化への幅広い視野と関心、音楽への発展を通じて文化的な社会を形成する視点を有していること。

<舞台芸術領域>

- ・舞台芸術（音楽・演劇・舞踊）と社会におけるそれらの価値や役割に強い情熱と関心と学修意欲を持ち、豊かな創造力と想像力、コミュニケーション力を活かして、舞台芸術の発展と舞台芸術を通じた社会課題の解決に臨む意欲があること。

<美術領域>

- ・美術に対する関心や探求心があり、制作や表現に対して創造的な価値を見だし、それらを通じて社会に貢献することを志す、幅広い視野と意欲が備わっていること。

<デザイン領域>

- ・デザインに対する関心や探究心があり、モノづくりや思考を通じて、様々な問題を解決することで社会に貢献することを志す、幅広い視野と意欲が備わっていること。

<芸術教養領域>

- ・芸術学部を設置する各領域各分野をはじめ、現代の多様な文化や社会に関心があり、自らの発想と知恵、感覚をいかしつつ、地域と社会がかかえる課題を協働して解決していく意欲があること。

教育学部：

高度な実践力を備えた保育士、幼稚園・小学校教諭、あるいは子どもたちとの様々な関わりを通して社会に貢献することを志す人材を育成するため、学部が掲げる目的や教育理念と目標を理解し、かつ以下の「求める学生像」が備わっている人材を求める。

[求める学生像]

- ・子どもが好きであり、高い倫理観と豊かな人間性が備わっていること。
- ・将来、保育士、幼稚園教諭、小学校教諭などの保育・教育職、あるいは子どもたちに関わる各分野で活躍したいという意欲があること。
- ・協調性を備え、高いコミュニケーション能力が身についていること。
- ・議論を通して学びを深めようとする好奇心や探求心があること。

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：本学ホームページにて公表 <https://www.nua.ac.jp/faculty/>

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	3人	—					3人
教育学部	—	10人	5人	2人	人	人	17人
芸術学部	—	28人	27人	24人	人	人	79人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長			学長・副学長以外の教員				計
1人			430人				431人
各教員の有する学位及び業績 （教員データベース等）		公表方法：本学 HP にて公表 https://www.nua.ac.jp/teacher/					
c. FD（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
教育学部	100人	26人	26%	420人	136人	32.4%	20人	0人
芸術学部	485人	538人	110.9%	2,010人	2,186人	108.8%	70人	9人
美術学部 ※募集停止	人	人	%	人	1人	%	人	人
合計	585人	564人	96.4%	2,430人	2,323人	95.6%	90人	9人
(備考)								

b. 卒業者数・修了者数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業者数・修了者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
教育学部	38人 (100%)	3人 (7.9%)	29人 (76.3%)	6人 (15.8%)
芸術学部	495人 (100%)	33人 (6.7%)	360人 (72.7%)	102人 (20.6%)
合計	533人 (100%)	36人 (6.8%)	389人 (73%)	108人 (20.3%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項)				
(備考)				

c. 修業年限期間内に卒業又は修了する学生の割合、留年者数、中途退学者数 (任意記載事項)					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業・修了者数	留年者数	中途退学者数	その他
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
(備考)					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

<p>(概要)</p> <p>授業計画(シラバス)を本学ホームページにおいて公表しており、授業科目ごとに授業の方法、概要、年間の授業計画を記載している。 https://www.nua.ac.jp/about/disclosure/nua/</p>

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

(概要) 卒業要件、成績の評価と単位認定、ディプロマポリシー等について、全学生及び教員に配付している学生便覧に記載するとともに、ディプロマポリシーについては、本学ホームページにおいて公表している。 https://www.nua.ac.jp/about/admission/				
学部名	学科名	卒業又は修了に必要なとなる単位数	GPA制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
芸術学部	芸術学科	124 単位	有・無	単位
人間発達学部	人間発達学部	126 単位	有・無	単位
教育学部	教育学部	124 単位	有・無	単位
美術学部	美術学部	124 単位	有・無	単位
GPAの活用状況 (任意記載事項)		公表方法：		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法：		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：公表方法：全学生及び教員に配付している学生便覧に記載するとともに、本学ホームページにおいて公表している。 https://www.nua.ac.jp/campuslife/campus/
--

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考 (任意記載事項)
教育学部	子ども学科	700,000 円 600,000 円	200,000 円	600,000 円 610,000 円	教育充実費、施設設備費 教育充実費、実習費
芸術学部	芸術学科 美術領域	900,000 円 850,000 円	200,000 円	740,000 円 690,000 円	教育充実費、施設設備費 教育充実費、実習費
	芸術学科 デザイン領域(文芸・ライ ティングコース以外)	900,000 円 850,000 円	200,000 円	740,000 円 690,000 円	教育充実費、施設設備費 教育充実費、実習費
	芸術学科 デザイン領域(文芸・ライ ティングコース)	700,000 円	200,000 円	700,000 円 600,000 円	教育充実費、施設設備費 教育充実費、実習費
	芸術学科 音楽領域(声楽、鍵盤楽 器、弦管打、サウンドメ ディア・コンポジション、 ミュージカル、ポップ ス・ロック&パフォー マンス、音楽総合)	1,325,000 円	200,000 円	640,000 円 540,000 円	教育充実費、施設設備費 教育充実費、実習費
	芸術学科 音楽領域(ミュージック エンターテインメント・ ディレクション、声優ア クティング、ダンスパフ ォーマンスコース)	800,000 円	200,000 円	640,000 円 540,000 円	教育充実費、施設設備費 教育充実費、実習費
	芸術学科 音楽領域(音楽ケアデザ インコース)	1,225,000 円	200,000 円	640,000 円 540,000 円	教育充実費、施設設備費 教育充実費、実習費
	芸術学科 音楽領域(ウインドアカ デミーコース)	1,060,000 円	200,000 円	640,000 円 540,000 円	教育充実費、施設設備費 教育充実費、実習費
	芸術学科 音楽領域(プロフェッシ ョナルアーティストコ ース)	1,590,000 円	200,000 円	640,000 円 540,000 円	教育充実費、施設設備費 教育充実費、実習費
	芸術学科 芸術教養領域	700,000 円	200,000 円	700,000 円 600,000 円	教育充実費、施設設備費 教育充実費、実習費
	芸術学科 舞台芸術領域	900,000 円 850,000 円	200,000 円	740,000 円 690,000 円	教育充実費、施設設備費 教育充実費、実習費
美術学部	美術学科 ※募集停止	850,000 円	-	590,000 円	教育充実費、実習費

※「授業料 (年間)」又は「その他」が二段になっているものは、上段が令和 7 (2025) 年度以降入学者対象、下段は令和 6 (2024) 年度以前入学者対象を指す。

※「教育学部」は、令和 4 年度に「人間発達学部」から名称変更している

⑨ 大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組
(概要) 建学の精神に基づき、奨学金及び設置法人「名古屋自由学院奨学金基金」を財源として本学独自の奨学金を運営し修学支援を実施している。主な奨学金制度として「名古屋芸術大学学費減免制度」、「名古屋芸術大学兄弟姉妹学費減免制度」、「名古屋芸術大学入学金免除奨学金制度」、「名古屋自由学院緊急奨学金制度」、「名古屋芸術大学特待生制度」等がある。
b. 進路選択に係る支援に関する取組
(概要) キャリア教育系正規科目、ビジネス系正規科目と就職支援プログラムを連動させることにより、1年生からキャリア形成に向き合うことができるよう支援を実施している。学生が自らのキャリアについて体系的に学び、段階的に成長し、希望の進路を選択できるよう、学生それぞれの希望に沿うサポートを行っている。
c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組
(概要) 学生相談室、保健室、学務部が常に連携し、学生のサポートを行っている。具体的には、定期健康診断に関する業務と再検査の実施、学生の怪我や体調不良者の対応、健康相談、メンタル相談、持病や障害のある学生のサポート、学生相談室の紹介、怪我や事故に対しての災害傷害保険、賠償責任保険の対応である。また、感染症予防対策にも取り組んでいる。以上を必要に応じて教員、他部署と連携しながら行っている。

⑩ 教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：本学ホームページにおいて公表している。 https://www.nua.ac.jp/about/disclosure/nua/

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄（合計欄を含む。）について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「-」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード (13桁)	F123310106835
学校名 (〇〇大学 等)	名古屋芸術大学
設置者名 (学校法人〇〇学園 等)	学校法人 名古屋自由学院

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者数 ※括弧内は多子世帯の学生 (内数) ※家計急変による者を除く。		481人 (251) 人	451人 (214) 人	503人 (266) 人
内 訳	第Ⅰ区分	130人	118人	
	(うち多子世帯)	(26人)	(一人)	
	第Ⅱ区分	65人	60人	
	(うち多子世帯)	(一人)	(一人)	
	第Ⅲ区分	35人	36人	
	(うち多子世帯)	(一人)	(一人)	
	第Ⅳ区分 (理工農)	0人	0人	
	第Ⅳ区分 (多子世帯)	48人	46人	
区分外 (多子世帯)		161人	168人	
家計急変による 支援対象者 (年間)				一人 (0) 人
合計 (年間)				504人 (266) 人
(備考)				

※ 本表において、多子世帯とは大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第8号）第4条第2項第1号に掲げる授業料等減免対象者をいい、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分、第Ⅳ区分（理工農）とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第2号イ～ニに掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等		
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	—	人	人
修得単位数が「廃止」の基準に該当	—	人	人
出席率が「廃止」の基準に該当又は学修意欲が著しく低い状況	—	人	人
「警告」の区分に連続して該当 ※「停止」となった場合を除く。	—	人	人
計	—	人	人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遑って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。） 、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限り。）			
年間	0人	前半期	人	後半期	人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

(1) 停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、停止を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
GPA等が下位4分の1	—	人	人

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が「警告」の基準に該当	0人	人	人
GPA等が下位4分の1	63人	人	人
出席率が「警告」の基準に該当又は学修意欲が低い状況	0人	人	人
計	63人	人	人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。